

第1回長野県介護技術コンテスト開催要項

1 趣旨

介護の仕事を目指す学生や介護の職場で働いている介護職員が介護技術を競い、介護技術の向上を図るとともに県民に介護のすばらしさを発信し、「介護の仕事」への理解を深めていただくことを目的とするコンテストです。

第1回となる今年度は、ビデオ応募、ビデオ審査の方法をとり、11月3日に開催される信州ふっころフェスティバルにおいて優秀者を表彰します。

2 主催

長野県介護福祉士会
長野県社会福祉法人経営者協議会
長野県社会福祉協議会
長野県介護福祉士養成施設連絡会

3 参加条件

- (1) チーム 1チーム3名(選手2名 利用者役1名)
(2) 参加対象 高校生、介護福祉士養成校の学生、介護職員

4 競技概要

(1) 課題例

新型コロナウイルスの感染を心配して外出をしていなかった長野さん。
今日は久しぶりのデイサービスの利用です。
長野さんへのレクリエーションと介護を考えてみましょう！

(2) 方法

A)自己紹介(1分)、B)実技(5分)、C)説明(1分)
実技は5分とし、7分以内の動画に撮影して応募するものとします。
※C)説明については、実技で工夫したポイント等を説明し、紙を読むのも可とします。

(3) 撮影

スマートフォンで撮影し、MP4フォーマット(スマホ動画の標準フォーマット形式)で提出する。

5 応募方法とスケジュール

(1) エントリーシートの提出

ちらし裏面エントリーシートを FAX またはメールで提出もしくは応募フォームへ入力

〈送付先〉長野県社会福祉協議会 まちづくりボランティアセンター
メール vceneter@nsyakyo.or.jp FAX 026-228-0130

応募フォーム

<https://forms.gle/STMvvMrLVdZKcyWF7>

QRコード→



- (2) エントリー確認後、事務局より課題と利用者情報を送付
- (3) 動画の撮影
- (4) 動画の提出(提出期限 10月16日(金))
インターネットもしくはDVDで提出する。
- (5) 表彰(11月3日(火・祝))に開催するふっころフェスティバル内で表彰します)

6 審査

- (1) 審査員 多方面の有識者から選定する。(予定組織名)

- 長野県社会福祉協議会
- 長野県介護福祉士会
- 長野県社会福祉法人経営者協議会
- 長野県介護福祉士養成施設連絡会
- 長野県高等学校福祉教育研究会

- (2) 審査基準 実技及び説明を総合的に評価し、得点順位を競う。
10月下旬に審査会を開催し、選考を行う。

7 表彰

- (1) 賞 最優秀賞(1団体)、優秀賞(3団体)、奨励賞(参加団体)
- (2) 表彰 11月3日に開催する信州ふっころフェスティバルにおいて表彰します。
- (3) 作品展示 信州ふっころフェスティバルホームページに掲載して、広く周知します。

8 作品の活用

- (1) 応募作品の著作権は、応募チームに帰属します。
- (2) 当コンテスト事務局の長野県社会福祉協議会は、応募作品をホームページで公表するなど、事業の趣旨に沿って活用できるものとします。さらに、検討の過程も含めて、福祉介護人材PR事業の一環として取材し、広報に活用する場合があります。
その際、応募者のお名前や写真を公表させていただく場合がありますので、申請時に肖像権同意書への同意をお願いします。
- (3) 応募された作品は、返却しません。

問い合わせ
長野県社会福祉協議会 まちづくりボランティアセンター
(所長)長峰 夏樹 (担当)徳永 雄大、清水 瑞樹
TEL:026-226-1882 FAX:026-228-0130
E-mail:vccenter@nsyakyu.or.jp